

平成27年度 第2回 玉城町総合教育会議 議事録

開催日時	平成28年2月29日(月) 10:00~11:00
開催場所	玉城町役場3階 第2委員会室
出席者	辻村町長 教育委員：上村委員長、中山委員、小林委員、前川委員、山口教育長 オブザーバー：中西教育員会事務局長兼教育総務課長、藤川生涯教育課長 事務局：林総合戦略課長、中川同係長、永井同主事
傍聴者	2名
【議事概要】	
事務局	林課長司会
町長	町長挨拶
教育委員長	教育委員長挨拶
	【議題】
事務局	1. 玉城町の教育大綱の策定に関する考え方について 2. 第5次玉城町総合計画後期基本計画における教育に関する基本的な政策について
委員	事務局説明 教育大綱については総合計画の中でカバーしている。計画期間についても総合計画に合わせて28年度から5ヵ年としている。本日は総合計画から教育に関する施策を抜粋してまとめた物をお示しさせていただく。 (一同同意)
教育長	3. 平成28年度の取組みについて 4. 町長の考え方について 教育長説明 総合計画に沿って説明 ○次代の人づくりにつながる教育のまち 学校教育は近年、太陽光の設置、空調の整備、つり天井工事を行い、今年度すべて完了する。このことは全国的にも珍しい事例となっている。このことを実現できたことにより、子供たちが安心して勉強することができる。このことをもっと発信していきたい。 知徳体。知については全国トップクラスの成績を残している。英語教育にも力をいれている。これから未来へ羽ばたいていく子供達に自身をつけられるような教育を目指していく。平成28年度は理科教育に力を入れていきたい。理科実験の得意な先生を町単独で採用し、理科の好きな子供を増やしたい。世界に通じる技術を持った人材の育成につながるようなきっかけになればよいと考えている。 徳については、昨年度から、人権教育に力を入れている。心を強くする体については、徒歩通学を通じて、小学校から足腰を鍛えることができるのではない

	<p>か。近隣市町では統廃合により、バス通学している子供がいる。子供の実力にあった学習をしてほしい。</p> <p>このことから、玉城町は次世代の教育を行っていると考えている。</p> <p>○多世代が交流し、生きがいと活躍の場があるまち</p> <p>○自然を守り、景観と文化資源を生かすまち</p> <p>文化活動ができる場づくりを目指している。生涯教育については、出足は遅かったものの、いまでは県下上位の取り組みとなっている。施設はいつも予約でいっぱいである。スポーツへの関心も高く、今後スポーツ施設の改修等も考えていかなければならないと考えている。</p> <p>○都市基盤を適切に維持・更新するまち</p> <p>文化財については、玄甲舎や田丸城址の石垣の整備など町として大切に守っていかねばならないと考えている。</p>
委員	<p>子供の心を教育するのは、学校だけでは無理がある。子供の人作りのためには家庭・地域・学校での3者が連携することが大切。核家族化が進む中、孤立させてはいけないと思う。隣近所との付き合いが薄くなっていく。家庭に入り込むのは限界があるが、雰囲気作りをしてあげてほしい。</p>
委員	<p>公園整備については、農村公園も対象となるのか。遊具がだんだんと無くなってきた。子供が増えてきているので、整備することで、子供の成長につながるのでは。</p>
町長	<p>農村公園については、自治区管理となっている。自治区の意識の高さから、公園を作ることができた。整備については町も補助を行っている。子供が少ない地域では、使われていない公園もあるが、要望があれば、町管理の公園については遊具等も設置させていただいている。今年度末を目処に、田丸保育所の園庭を半解放することを検討している。</p>
教育長	<p>我々が子供の頃は城山が遊び場所だった。子供たちが山を登って遊びを通じて足腰を鍛えることができる。</p>
町長	<p>ふるさ玉城の近況について、富岡区の多面的機能支払交付金事業がとても活発に取り組みを行っている。東海4県でもトップの取り組みとなっている。</p> <p>三重県の小中高の中で9校が体育館に冷暖房を完備しており、そのうち5校が玉城町である。東日本大震災から5年経過したが、心の復興をどのように行っていくかが大切である。徒歩通学についても、1年生のときは大変だが、1年もすれば皆たくましくなり、元気に登校している。これはとても大切。村山賞についても、毎年優秀な子供が出てきている。このことが、町を元気にさせていると思う。</p> <p>文化活動についても玄甲舎修復を始め取り組んでいきたい。地方創生で子供たちの</p>

	<p>意見を聞く機会があったが、子供から町を大切にしたいという発言があり大変嬉しく思った。この気持ちを大切にしていきたい。</p> <p>先日の新聞で、玉城町が伊勢志摩地域で唯一人口が増えているとの記事があった。さまざまなことが要因と考えられる。今年度人口ビジョンを策定したが、今の玉城町のよさを持続できるように、今のうちから将来に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>旧集落が徐々に高齢化が進んでいる。</p>
委員	<p>旧田丸の出身だが、周りにも高齢者が増えてきている。区の役なども引き受けられないような状況が発生してきている。その中で、できることを考えていきたいと思っている。それぞれがつながりを持って楽しんで地区を守っていくような話をしている。当然町内でこのような状況が増えていくので、マイナスではなくプラスに考えていきたい。</p>
教育長	<p>玉城町の高齢者は元気である。</p>
町長	<p>まちの強み、特性は人口が減らない、災害に強い。この強みを生かしていきたい。土地の荒廃が少ないまちでもある。国の TPP が進む中、やる気のある人は応援したい。城山から眺める素晴らしい田園風景はずっと守りたい。住宅地域や工場等のバランスも大切である。調和を大切にしていきたい。実際に保育所に入所された保護者の方が、玉城町の保育所に入所させてよかったという声をいただく。</p>
委員	<p>児童館がとても賑やか。登下校中の子供が私の畑の野菜を見たり、質問されたりすることがある。畑の無い家庭の子供は特に興味を示している。挨拶を交わし、楽しく子供たち会話をすることがある。子供から積極的に話をしてくれる。</p>
委員	<p>田丸地区は最近生き物が減ってきている。農業振興を行う上で仕方ないことだが少し寂しい気もする。</p>
町長	<p>最近下水道整備が進んできたため、水質が良くなってきて、ホタルも見られるようになった。</p>
事務局	<p>5. その他</p> <p>今後の総合教育会議については、決算が出る時期に年1度お集まりいただき、進捗確認や意見交換を行いたい。次年度の教育方針に生かしていただけるような流れでいきたい。</p>

以上